

編集委員会 —平成27・28年度活動報告—

嶋田 かをる*

編集委員会は、日本臨床検査学教育学会(以下、本学会)の会誌である『臨床検査学教育』の編集に関わる活動を行っている。『臨床検査学教育』は、臨床検査学の教育を中心とした広く医療人の育成に関する研究ならびに本学会の活動を含めた情報交換に資することを目的として、年2回発行(各巻1号は3月1日、2号は9月1日)されている。平成27・28年度委員は、平成27年5月開催の日本臨床検査学教育協議会定期総会後に拝命された協議会の奥村伸生副理事、松尾収二委員長ほか10名の委員(うち、5名は平成25・26年度委員の継続)で構成された。

今回、編集に携わった『臨床検査学教育』第8巻1号、2号及び第9巻1号と現在作業継続中の第9巻2号に関する活動報告を編集委員会議事録に基づき報告する。

平成27・28年度委員会活動

第1回：平成27年8月20日(木)

信州大学医学部中校舎 1F

・奥宮敏可前委員長より、松尾委員長、嶋田副委員長が編集業務内容を引き継ぐ。

第2回：平成27年12月14日(月)

東京医科歯科大学歯学部附属病院 4F

◎出席者(敬称略)

奥村伸生、松尾収二、嶋田かをる、石橋佳朋、

奥宮敏可、坂口みどり、高岡榮二、山内一由、横尾智子(委任：渡邊幹夫、村上博和、横田浩充)

◎審議事項

- 1) 編集作業にあたる委員のペアーおよび第8巻2号(平成28年9月1日発行)編集における投稿論文担当委員が審議され決定した。

◎報告事項

- 1) 第8巻1号(平成28年3月1日発行)編集進捗状況
- 2) 『編集委員』編集業務の概要と第8巻2号の編集作業手順等の確認

第3回：平成28年5月30日(月)

東京医科歯科大学3号館 18F

◎出席者(敬称略)

奥村伸生、松尾収二、渡邊幹夫、嶋田かをる、石橋佳朋、奥宮敏可、坂口みどり、高岡榮二(代理：中村康子)、村上博和、山内一由(委任：横尾智子、横田浩充)、編集室より田中健治、篠崎愛

◎審議事項

- 1) 会員校以外への原稿投稿(総説・寄稿)依頼時の謝金について

会員校以外の先生方に原稿投稿(総説・寄稿)を依頼する場合、策定する委員会内規に従って謝金を支払うことを決定し、理事会へ上申することとなった。

*平成28年9月開催の理事会に委員会内規と

*平成27・28年度副委員長、熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科 shimada@kumamoto-hsu.ac.jp

ともに上申、承認された。

2) 査読者名の機関誌掲載について

第9巻から事前に名前(所属は付記なし)掲載の了承を取り掲載する。尚、第8巻に関しては委員長判断として1、2号の査読者氏名を本人了承の基に2号巻末に掲載することが決定した。

◎報告事項

- 1) 第8巻2号(平成28年9月1日発行)編集進捗状況報告
- 2) 第9巻1号(平成29年3月1日発行予定)の編集作業について

第11回学術大会プログラムが決定し準備段階に入っているため、坂本秀生大会長と連携をとりながら、原稿依頼を進める。さらに、学生優秀発表賞受賞者への原稿、および教育分野担当座長への投稿推薦論文は事前(大会前)に依頼する。

◎その他

- 1) 第9巻2号(平成29年9月1日発行予定)編集作業時は委員の改定が行われる予定である。しかし、円滑な編集を遂行するために、平成27・28年度委員の半数が入替わる(平成25・26年度委員が退任)こととし、第9巻2号編集作業は現松尾委員長と継続する平成27・28年度委員が担当する。
- 2) 平成29年度は理事長選も実施されるが、編集委員会は理事2名が編集委員長、副委員長として会務にあたるのが望ましいことから、この体制が継続するよう理事会に上申する。
- 3) 論文査読者は特定の先生方に負担がかからないように、1年に1回程度を勘案して、選出するように心がける。

第4回：平成28年12月19日(月)

東京医科歯科大学3号館18F

◎出席者(敬称略)

奥村伸生、松尾収二、渡邊幹夫、嶋田かをる、石橋佳朋、坂口みどり、高岡榮二、山内一由、横尾智子(委任：奥宮敏可、村上博和、横田浩充)、編集室より田中健治、海辺雛子

◎協議事項

・英文による投稿規定について

渡邊副委員長が現投稿規定策定時の経緯を説明後、投稿規定を次のように一部変更し、平成29年5月の理事会に上申する。尚、別途事項については、学会誌『臨床病理』を参考としながら、継続の協議事項とすることが決定した。

「執筆言語は和文を原則とする。英文による投稿については別途定める。」

◎報告事項

- 1) 第9巻1号(平成29年3月1日発行予定)編集進捗状況について

原稿入稿のデッドラインは、印刷・発行作業上1月20日とする。

- 2) 第9巻2号(平成29年9月1日発行予定)編集作業について

教育機関紹介ページに、国際交流を紹介する機関(機関の推薦は国際交流委員会が行う)を入れる。なお、要査読原稿 μ 切は3月末日、査読不要原稿 μ 切は5月末日厳守とする。

◎その他

査読者からの指示による再投稿への基準がなく、編集作業が滞る事案が発生したことにより、 μ 切期限を設定する。再投稿の μ 切期限は概ね1ヶ月以内とし、著者への再投稿依頼メールに明記する。

上記のように平成28年度をもって、平成25・26年度からの継続委員が退任される。奥宮前委員長は、現在の編集作業プロセス(第8巻1号の『寄稿』に執筆)を構築され、渡邊副委員長、石橋委員、高岡委員、山内委員とともに4年間に渡る編集作業に携わられた。改めて、退任される委員の皆さまの会務に対する労へ敬意を表する。そして、平成27・28年度から継続する委員6名と新たに迎える委員の方々に次号以降も会務を遂行し、『臨床検査学教育』を通して、会員の先生方に本学会の活動を含めた情報交換が行われるように努めたい。

最後に、原稿を執筆して頂いた著者の方々とその原稿を査読して下さいましたすべての査読者の方々に感謝の意を表する。



写真1 平成28年5月30日 第3回編集委員会



写真2 平成28年12月19日 第4回編集委員会